

世界の切手に描かれたルイ・ブライユ —国立民族学博物館「点天展」における切手展示の記録—

筑波技術大学保健科学部保健学科鍼灸学専攻

大沢秀雄

要旨：2009年1月4日は点字の発明者ルイ・ブライユの生誕200年の誕生日であった。2009年8月13日から11月24日まで、国立民族学博物館においてルイ・ブライユの生誕200年を記念した企画展「点字の考案者ルイ・ブライユ生誕200年記念…点天展…」が開催された。その中で「世界の切手に描かれたルイ・ブライユ」と題し、ブライユを描いた2008年以前の全ての切手と昨年末から今年にかけて発行された生誕200年の切手のうち7月までに収集できたものを展示した。

キーワード：ルイ・ブライユ、点字、郵便切手

1. はじめに

2009年1月4日は点字の発明者ルイ・ブライユ (Louis Braille, 1809～1852年) の生誕200年の誕生日に当たり、2009年は世界中で、それを記念する行事が世界盲人連合 (WBU)、各国の盲人協会、点字図書館、盲学校などで多数開催された。また40以上の国・地域からその記念切手が発行された。

2009年、国立民族学博物館で開催された企画展「点字の考案者ルイ・ブライユ生誕200年記念…点天展…」に筆者の視覚障害関連切手コレクションの一部が展示された。そこで、その作品の概要を紹介する。

2. 点字の考案者ルイ・ブライユ生誕200年記念…点天展…

2009年8月13日から11月24日まで、大学共同利用機関法人・人間文化研究機構・国立民族学博物館 (大阪府吹田市千里万博公園10-1) においてルイ・ブライユの生誕200年を記念して企画展「点字の考案者ルイ・ブライユ生誕200年記念…点天展…」が開催された。

本企画展での主な展示内容は、以下の通りである。

- ①ルイ・ブライユを描いた世界各地の記念切手 (筆者提供)、ヘレン・ケラーの点字蔵書 (パーキンス盲学校所蔵)、『群書類従』(和本と版木)、世界各地の点字器・点字板、「点字毎日」創刊号、第二次大戦前の点字教科書・地図帳、点字絵本などの点字に関する貴重な資料の展示
- ②内山春雄氏のバードカービング、江田拳寛氏の石創画、M. Y. Yokoyama 氏の継手アートなど、触覚芸術の優れた作品の展示

また会期中は様々なワークショップ、シンポジウムが開催された。

3. 「世界の切手に描かれたルイ・ブライユ」

この企画展で、「世界の切手に描かれたルイ・ブライユ」と題し、ブライユを描いた2008年以前の全ての切手と2008年末から2009年にかけて発行された生誕200年の切手のうち2009年7月までに収集できたものを展示した。

展示方法：Letter サイズの切手展用専用リーフに説明を書き込み、切手、葉書などの郵便物をプラスチック製のマウントやコーナーによって貼付した合計15リーフを展示した。切手リーフの上方奥にはルイ・ブライユ、石川倉次の写真や年表が展示されているため、切手用リーフへの書き込みは切手の関する事に留めた。図1は切手の展示風景である (特別に担当者の許可を得て撮影した)。

リーフへの記載事項：切手の発行国 (国名は正式名称を使う。消滅した国や国名が変更された場合は発行当時の名称を使った)、発行年、切手の図案の説明を記載した。特に、切手上に点字がエンボス加工や墨点字で印刷されている場合にはできるだけ記載するようにした。また、郵趣用語の説明も加えた。

リーフの文字サイズ：従来の切手展作品では、小さな切手を圧迫しない程度の小さな文字サイズが用いられている。今回は弱視者への配慮から可能な限り大きなフォントを用いることにし、本文部分は12ptを用いた。

全盲参観者への配慮：切手に限らず会場の展示物には点字シールによる説明が施されていた。「世界の切手に描かれたルイ・ブライユ」15リーフに加え、実際に全盲の参観者が点字のエンボス切手を触れるよう、別に1リーフ作成した (別図最終ページ)。これは点字のエンボス切手を薄いビニール袋に入れ、リーフ上に両面テープで固定したものである。会場担当者に直接口頭で確認したところ、多数の全盲参観者が触り、好評とのことであった。

4. 「世界の切手に描かれたルイ・ブライユ」の構成

全15リーフの構成は以下の通りである（別図参照、60%）

- 1 ページ：タイトル、作品の概要、参考文献などを示す。
- 2 ページ：ブライユを描いた最初、2番目の切手
- 3 ページ：ブライユ生誕150年、点字発明150年（1）
- 4 ページ：点字発明150年（2）
- 5 ページ：点字発明150年（3）
- 6 ページ：没後125年、国際障害者年など
- 7 ページ：生誕200年（1） フランスなど
- 8 ページ：生誕200年（2） オランダ
- 9 ページ：生誕200年（3） チェコ、アイルランドなど
- 10 ページ：生誕200年（4） ポーランド、セルビアなど
- 11 ページ：生誕200年（5） モルドバ、ルーマニア
- 12 ページ：生誕200年（6） ベラルーシなど
- 13 ページ：生誕200年（7） 韓国、インドなど
- 14 ページ：生誕200年（8） ブラジル、モロッコなど
- 15 ページ：生誕200年（9） オーストラリア

5. 国際シンポジウムの参加

会期中の11月22日・23日の2日間、国際シンポジウム「点字力の可能性—21世紀の新たなルイ・ブライユ像を求めて」が開催された。その中で「切手が伝える視覚障害」と題した講演と展示された切手の前でギャラリー・トークを行った。このシンポジウムには国内外の視覚障害教育の関係者が多数参加されており、その中で切手が視覚障害の歴史や現状をよく反映した資料であること、一般の方に視覚障害の啓蒙を行う際に切手が役立つことなどを主張した。

6. 参観者の感想

8月末と11月の国際シンポジウムの2回、会場に行き、参観者、会場のボランティア、視覚障害教育関係者より直接聴取した感想を順不同に列挙する。

- ・ ブライユの切手多数発行されていることに驚いた。
- ・ 日本はブライユ生誕200年の記念切手を発行していないのか？（筆者注：発行されていない）
- ・ 点字のエンボス切手が存在することを初めて知った。
- ・ 点字のエンボス切手を日本は発行しているのか？（筆者注：日本はこれまで1988、1990年に2回発行）。
- ・ 切手を見て、ブライユが身近に感じられた。
- ・ 地元の点訳・朗読ボランティア・グループで見せたい。
- ・ 展示してある切手を入手したい。
- ・ 切手が点字の普及に役立つと思う。

これらの感想の中で一番多かったものは「日本はブライユ生誕200年の記念切手を発行していないのか？」であった。2025年の点字発明200年の時には、今回の事を踏まえ、関係諸団体と共に切手の発行運動を行いたいと考える。

7. まとめ

以上、国立民族学博物館の企画展「点字の考案者ルイ・ブライユ生誕200年記念…点字展…」に資料提供した「世界の切手に描かれたルイ・ブライユ」の概要を述べた。今後とも、視覚障害に対する啓蒙活動の一環で、資料としての切手を活用していきたいと考える。

謝辞 今回の切手展示に当たりお世話になった国立民族学博物館・准教授・廣瀬浩二郎先生に深謝いたします。

別図の切手画像をカラーで紙などに印刷した場合、郵便切手類模造等取締法に触れる恐れがありますので、ご留意下さい。

参考文献

- [1] 大沢秀雄, 視覚・聴覚障害に関連した切手, 筑波技術大学テクノレポート, Vol.14, 281~287, 2007.
- [2] 大沢秀雄, 視覚障害に関連する切手, 切手の博物館研究紀要, 第4号, 3~25, 2008
- [3] 大沢秀雄, 「切手が伝える視覚障害一点字・白杖・盲導犬—」, 彩流社, 2009



図1 「世界の切手に描かれたルイ・ブライユ」の展示風景

世界の切手に描かれたルイ・ブライユ

資料提供: 筑波技術大学保健科学部鍼灸専攻 大沢秀雄



フランス共和国 (1948)、テラックスシート

ルイ・ブライユを描いた最初の切手はアルゼンチンから1939年に通常切手として発行され、2番目の切手は母国フランスから1948年に発行された。その後、ブライユを描いた切手は1975-76年の点字発明150年、1981年の国際障害者年の特殊切手として数カ国で発行された。2008年末より2009年にかけて、30以上の国と地域で「ルイ・ブライユ生誕200年」の記念切手(切手付送封筒も含む)が発行されている。本企画展では2007年以前に発行されたルイ・ブライユを描いたすべての切手(一部関連切手も含む)と、2008-09年に発行されたルイ・ブライユ生誕200年の記念切手のうち、2009年7月までに収集できた37カ国の切手・切手付き封筒を紹介する。

★主要参考文献・参考切手展作品

- 大沢秀雄: 視覚・聴覚障害者に関与した切手、筑波技術大学テクニカルレポート、Vol.14、p.281~287、2007
- 大沢秀雄: 視覚障害者に関与する切手、切手の博物館研究紀要、第4号、p.3~25、2008
- 大沢秀雄: 「切手が伝える視覚障害者一点字・日杖・盲導犬」、彰流社、2009
- 「郵趣」、日本郵趣出版、各号の世界新切手ニュースの項目
- 大沢秀雄: 「視覚障害者一点字」、全日本切手展2008、金銀賞(切手展作品)
- 大沢秀雄: 「ルイ・ブライユと点字」、全国切手展2008、金銀賞(切手展作品)

ブライユを描いた最初の切手



アルゼンチン共和国 (1939)
ブライユを描いた最古の切手。
正面からの肖像が描かれている。
通常切手として発行された。

2番目の切手(母国より発行)



フランス共和国 (1948)
フランスより発行された2番目の切手。
側面からの肖像が描かれている。
フランス相互援助のための寄付金付き
切手として発行された。



マキシムカード
ブライユの肖像の絵葉書に生源地、
クープレの消印が押印されている。

マキシムカード切手と関連ある絵葉書などに切手を貼り、関連する郵便局の消印を押印したもの。

生誕150年



ソビエト連邦(1959) ブライユの側面像

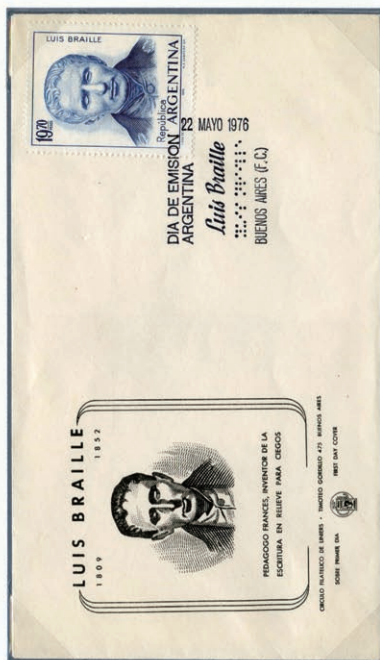


拡大率300%

ロシア語の墨点字でルイ・ブライユの記載がある。墨点字が記載された最初の切手

点字発明150年(1)

ルイ・ブライユが6点式点字を発明してから150年になる1975～76年に、世界各国より「点字発明150年」の記念切手が発行された。



アルゼンチン共和国(1976)、初日カバー

切手: ブライユの肖像、アルゼンチンでは1939年の通常切手に続き、2度目の発行である。
初日記念印: Luis Brailleの墨点字の記載がある。

(注:スペイン語ではLouisではなく、Luisと表記する)

初日カバー切手に関連した挿絵を描いた封筒に切手発行日の消印を押し印したのも、切手発行にあわせて特別な記念印が使用される場合が多い。

点字発明150年(2)

ドイツ民主共和国(東ドイツ)(1975)



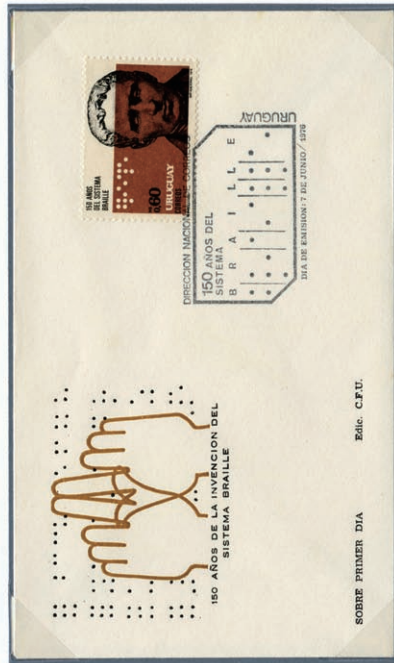
ブライユの肖像と6点式点字



点字(Braille)の墨点字とそれを読む手



眼鏡と眼の断面図(視軸と光軸)



SOBRE PRIMER DIA Edic. C.F.U.

ウルグアイ東方共和国(1976)、初日カバー

切手: ブライユの肖像と墨点字・切手上的の墨点字表記が読んでいる。点字は文字を6点で構成するが、詰めて記載してあった。

初日記念印: 切手の Braille の点字を訂正している。

注:「点字発明150年」の記念切手「ステーションナリー」を発行した国は7カ国のみであり、このような点字のミスがあったとしても、切手の発行政策自体は厳密に通り、

点字発明150年(3)



ベルギー王国(1975)
墨点字で「150 Braille」
点字を讀む手と眼が描か
れている。寄付金付き切手



オランダ王国(1975)
点字を讀む手、墨点字で
「150 jaar brailleschrift」



ペルー共和国(1976)
ブライユの側面像と6点
式点字が描かれている。



ルーマニア人民共和国(1975)、切手付き封筒
持絵部分にブライユの正面像が描かれている。
切手付き封筒: 切手の役割をする料額印面が印刷された封筒。

没後125年



ルクセンブルグ大公国
(1977)
ブライユの正面像



マリ共和国(1977)
ブライユの正面像、点字本
を讀む手、braille の墨点字
が描かれている。



アンティグア・バーブーダ(1992)
「発明と発明者」の4種シリーズの
うちの一枚としてブライユと点字を
描いた切手が発行された。

国際障害者年の特殊切手

1981年 国際障害者年の特殊切手が世界各国より発行された。
その中にルイ・ブライユを描いた切手が数種発行された。



ガイアナ共和国(1981)
ブライユの正面像、点字を
學習する盲児とその教師
が描かれている。



パナマ共和国
(1981)
ブライユの側面像



セネガル(1981)
ブライユの正面像、点字を
讀む手が描かれている。



エルサルバドル共和国(1981)
「ルイ・ブライユを讀んで」の記述、眼、点字と点字を讀む手が描かれている。

生誕200年 (1)



フランス共和国 (2009)
0.55ユーロの点字エンボス
ブライユの肖像、点字の筆記用具



アンドラ公国 (2009)
0.88ユーロの点字エンボス
ブライユの肖像、点字の筆記用具、Bの墨点字



初日記念印には B の墨点字、点字の筆記用具が描かれている。



モナコ公国 (2009)
点字の本を読むブライユ
コが描かれている。



ワリス・フテウナ諸島
(2009)
ブライユの側面像と
点字を書いている様
子が描かれている。



ベルギー王国 (2009)
点字と点字を読む手、ルイ・ブ
ライユの肖像が描かれている。
点字エンボス(2箇所にある)
右上: 1 (額面)
下部: louis braille

生誕200年 (2)



シート左上の切手
表面(上段)と裏面
(下段)の印刷コピー



番号の部分が裏面に
印刷されている。



オランダ王国 (2009)

点字本出版180年記念として発行された(1829年にブライユによって最初の点字の本、『言葉、音楽
そしてブライユが聖歌を書くための方法』一言人のために作られた)切手本が再刊された。

各切手に3つの単語が点字エンボスで印刷されている。墨字は所々、空欄部分がある。切手裏面に
その空欄部分の文字が印刷されている。
シート左の耳紙部分に墨点字で点字のアルファベット表が印刷されている。

生誕200年 (3)



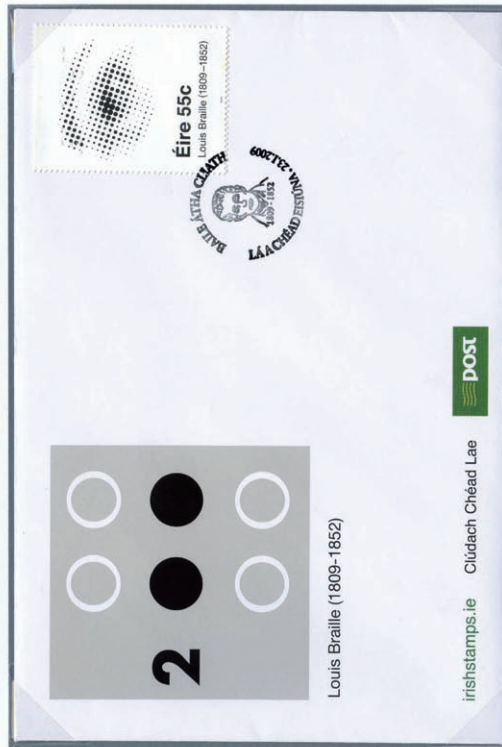
チェコ共和国 (2009)
ブライユの肖像
点字を読む手



フィンランド共和国 (2009)
眼、点字の本を読む手
0.57(額面)の点字エンボス



キプロス共和国 (2009)
ブライユの肖像のシルエット
200 XPONIA の点字エンボス



アイルランド (2009)、初日カバー (アイルランド郵政の公式初日カバー)
切手: 眼がドットパターンで描かれている。55c(額面)の点字エンボス
初日記念印: ブライユの肖像が描かれている。

生誕200年 (4)



ポーランド共和国 (2009)
ブライユの肖像
切手(左):ブライユの肖像
タブ(右):点字エンボスで Louis Braille
背景の●印は6点点字を示す。



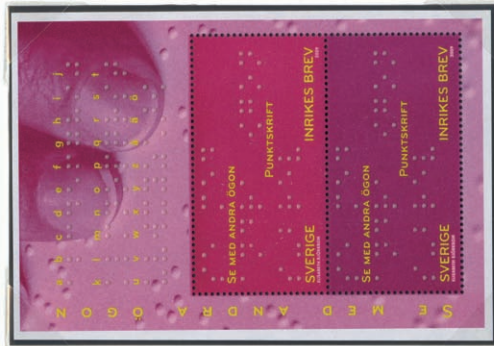
モンテネグロ (2009)
切手(左):ブライユの肖像、点字を読む手
タブ(右):切手と同一図案



セルビア共和国 (2009)
ブライユの肖像、点字を読む手



スロバキア共和国 (2009)、小型シート
切手: 眼が描かれている。2.38(額面)
の点字エンボス。
シート余白部分: 点字のアルファベット、
記号表の黒点字



スウェーデン王国 (2009)、小型シート
切手: SE MED ANDEA ÖGON (他の眼を通して)、
S-BREV(書状用の切手) の点字エンボス
小型シート余白: 点字のアルファベット表の点字
エンボス
紫外線硬化樹脂による点字エンボス

生誕200年 (5)

Louis Braille

200 de ani de la naștere

E F G H I J
O P Q R S T

Pedagog francez
inventorul alfabetului
de scriere cunoscut
ca Braille

Destinatar

ROMANIA 1.20 L

Louis Braille (1809-1852)

モルドバ共和国
(2009)
切手付き封筒
印面:ブライユの肖像と点字
挿絵:点字の本を読むブライユと点字のアルファベット表

Louis Braille
1800 - 1852

200 de ani de la nașterea
inventatorului alfabetului pentru nevăzătorii

ROMANIA 1.1

Louis Braille (1809-1852)

Destinatar

Codul Localitatea

RO

ルーマニア(2009)、切手付き封筒、印面:ブライユの肖像、挿絵:眼とブライユの肖像

生誕200年 (6)

ベラルーシ共和国
(2009)
ブライユの肖像
点字を読む手

カザフスタン共和国
(2009)
ブライユの肖像
ABCDEの墨点字

ウズベキスタン共和国
(2009)
ブライユの肖像
点字を読む手

Адреса отправника, индекс

Адреса одержувача, индекс

Луи Брайль - 1809-1852

ウクライナ(2008)、切手付き封筒
挿絵: ブライユの肖像とルイ・ブライユを表すロシア語の墨点字

生誕200年 (7)



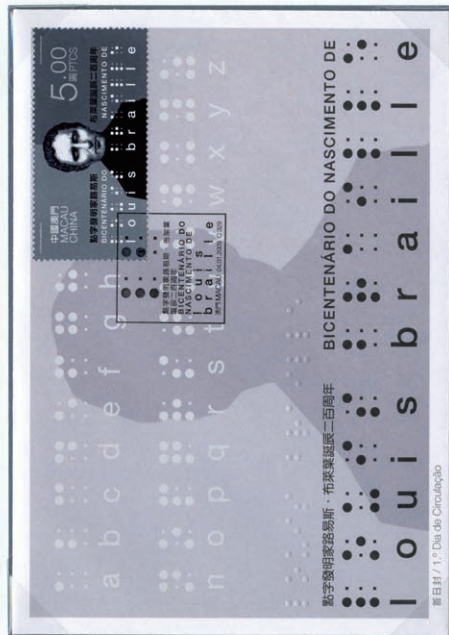
シリア・アラブ共和国 (2008) 点字を讀む手、ブライユの肖像、200の墨点字、眼



インド (2009) Louis Braille の点字エンボス、ブライユの肖像、点字を讀む手



大韓民国 (2009) 墨点字で「手で見る世界」とブライユの肖像



中華人民共和國マカオ (澳門) 特別行政区 (2009) 初日カバー (マカオ郵政の公式初日カバー)

切手: Louis Braille の墨点字とブライユの肖像が描かれている。
初日記念印: ルイ・ブライユのインシヤル (1b) の墨点字

生誕200年 (8)



ブラジル連邦共和国 (2009) ブライユの肖像、点字の読み、点字の筆記用具が描かれている。Louis Braille の点字エンボス



アルバ (2009) ブライユの肖像、墨点字と墨点字の併記。



アルバ (2009) 白杖、墨点字と墨点字の併記。



サン・トメ・プリンシペ民主共和国 (2009)、小型シート

左上: ブライユの生家と肖像
右上: バリ音学校とブライユの肖像
左下: 点字の読みとブライユの肖像
右下: 点字の書きとブライユの肖像



モロッコ王国 (2009) ブライユの肖像と点字を讀む手



アルジェリア 民主人民共和国 (2009) ブライユの肖像と a-h の墨点字

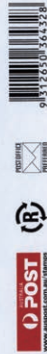
生誕200年 (9)



POSTAGE PAID
vision australia
 business and low vision services
 AUSTRALIA



Vision Australia honours Louis Braille, who provided the key to literacy for people who are blind.



印面: vision australia の文字とそのイニシャルの v a のカラーの点字エンボス。
 挿絵部分: 200 years louis braille の黒字と点字エンボスの併記。
 封筒裏面: 黒字と点字の併記で以下の文章が記載されている。

Vision Australia honours Louis Braille, who provided the key to literacy for people who are blind.
 (ヴィジョン・オーストラリアは盲目の人々の読み書きに対する解決策を提供した
 ルイ・ブライユに敬意を表します。)

※切手付き封筒の両面に点字が印刷されているものは他国に例を見ない(2009年7月現在)。

点字のエンボス切手

点字のエンボスを膏字で示す。



第5回世界盲人福祉会議、最初の点字のエンボス切手
 ブラジル連邦共和国 (1974)



ウルグアイ東方共和国
 (1983)
 Feliz Navidad
 (クリスマスおめでとう)



日本国 (1988)
 リハビリテーション
 日本最初の点字エンボス切手



日本国 (1990)
 てんしん
 日本の点字制度100年



デンマーク王国 (1990)
 DANMARK 3.50 (額面)



ドイツ連邦共和国 (2006)
 mit Händen sehen 55
 (手で見る 55(額面))



クロアチア共和国 (2006)
 DAN BIJELOG STAPA
 (白杖の白)



アイルランド (2006)
 48c (額面)

**Commemorative stamps of Louis Braille from around the world.
- Record of the stamps exhibited at “Ten-Ten-Ten”(Celebrating Louis Braille's
Bicentennial) at the National Museum of Ethnology -**

Ohsawa Hideo

Department of Health, Faculty of Health Science, Tsukuba University of Technology

Abstract: January 4, 2009 is the 200th birth anniversary of Louis Braille, who invented braille. The exhibition that commemorated the 200th birth anniversary of Louis Braille was held at the National Museum of Ethnology between August 13, 2009 and November 24, 2009. I contributed my collection of stamps on Louis Braille to this exhibition, and they were exhibited under the title “Commemorative stamps of Louis Braille from around the world.”

Key words: Louis Braille, Braille, Postage stamp